

二本松市コミュニティバス 12月定例会 運行条例を制定する条例等を可決

二本松市議会12月定例会は、12月2日から12月16日までの15日間を会期として開催されました。今回提出されました議案は、平成21年度一般会計補正予算、市条例制定、指定管理者の指定など市長提出議案15件、請願2件、議員提出議案2件、追加議案4件でした。これらを慎重に審議した結果、平成21年度一般会計補正予

算については原案のとおり可決されました。選挙管理委員会委員及び同補充委員の選挙が行われました。また、請願2件中1件は不採択となり、1件は趣旨採択となりました。最終日に議案3件が追加され教育委員会委員の任命の同意2件、監査委員選任の同意1件が提案され、全会一致で同意されました。

条 例

◎二本松市コミュニティバス運行条例
地域の公共交通を確保し、市民福祉の向上に資するため、コミュニティバス運行について必要な事項を定めるもの。

種 別	金額	
回数乗車券	200円券12枚つづり	2,000円
	100円券12枚つづり	1,000円
定期乗車券	1箇月につき <small>(小学生以下の者は半額)</small>	4,000円

◎二本松市二本松処理区公共下水道区域外受益者分担金徴収条例

公共下水道事業による計画区域内の管渠が整備されたことに伴い、二本松処理区に隣接する排水区域外から汚水を排除しようとする者から分担金を徴収し、公共下水道事業等に係る費用の一部に充てるため、必要な事項を定めるもの。

◎二本松市杉田子ども館及び二本松市学童保育所の指定管理者の指定について

二本松市杉田子ども館及び二本松市学童保育所の指定管理者を次のとおり指定する。

- 1 施設の名称
 - (1) 二本松市杉田子ども館
 - (2) 二本松市二本松南学童保育所
 - (3) 二本松市岳下学童保育所
 - (4) 二本松市杉田学童保育所
- 2 指定管理者の名称
社会福祉法人 二本松市社会福祉協議会
- 3 指定期間
平成22年4月1日から
平成25年3月31日まで

補正予算

◎二本松市一般会計補正予算
現計予算の総額に歳入歳出それぞれ103,994千円を追加し、予算総額を

27,001,870千円とするもの。

「主な補正内容」

- 総務費
 - ・地域振興整備基金積立金の増額 103,070千円
 - ・基幹系業務システム管理経費の増額 19,500千円
- 民生費
 - ・老人福祉施設等整備事業の増額 62,500千円
 - ・子育て応援特別手当支給事業の減額 57,150千円
 - ・生活保護扶助費の増額 49,793千円
- 農林水産業費
 - ・堆肥づくりサポートセンター整備事業の減額 123,675千円
- 商工費
 - ・(助)二本松菊栄会支援事業 21,813千円
- 土木費
 - ・一般市道整備事業の増額 13,000千円
 - ・市営住宅維持管理経費の増額 13,200千円
- ◎二本松市国民健康保険特別会計補正予算
被保険者の推移と上半期の医療費の動向から、保険給付費の伸びが見込まれることによる補正措置。
- ◎二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算
電算システム刷新に伴う帳票等作成に係る補正措置。
- ◎二本松市介護保険特別会計補正予算
保険事業勘定において、介護報酬改定等に伴い介護サービス及び介護予防サービスに係る給付費を増額し、財源は制度の負担割合により措置するもの。

そ の 他

- ◎二本松市教育委員会委員任命の同意について
宮前 貢さん(大壇)、小泉裕明さん(太田)を適任者と認め同意しました。
- ◎二本松市監査委員選任の同意について
安齋永重さん(上川崎)を適任者と認め同意しました。

議員提出議案

- ◎電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書の提出について
- ◎日米FTA交渉に関する意見書の提出について

11月臨時会

11月臨時会が11月20日開催され、全議案とも原案どおり可決されました。提出された議案は11件、報告事件は平成19年度二本松市の健全化判断比率の修正についての1件です。

◎専決処分の承認を求めることについて(平成21年度二本松市一般会計補正予算)

新型インフルエンザ対策として、ワクチン接種の費用負担軽減及び夜間診療体制の確保を専決した。

◎二本松市議会議員の議員報酬等に関する条例等の一部改正について

国家公務員の給与等に関し、厳しい経済・雇用情勢が民間の給与に反映されたことに対する減額処置を行うもの。

◎二本松市一般会計補正予算

給与関係費の補正ほか、生活保護扶助費に係る母子加算復活による経費並びに本年8月の大雨、台風18号による災害被災箇所の復旧経費。

「主な補正内容」

- ・母子加算復活による生活保護扶助費の増 1,644千円
- ・土木施設単独災害復旧事業費の増 5,850千円

◎平成19年度二本松市の健全化判断比率の修正について

平成20年9月定例会で報告した健全化判断比率及び資金不足比率について、計算過程において過疎債元利償還金の取扱いが異なっていたため、実質公債比率と将来負担比率を修正し、監査委員の審査に付した健全化判断比率を報告。